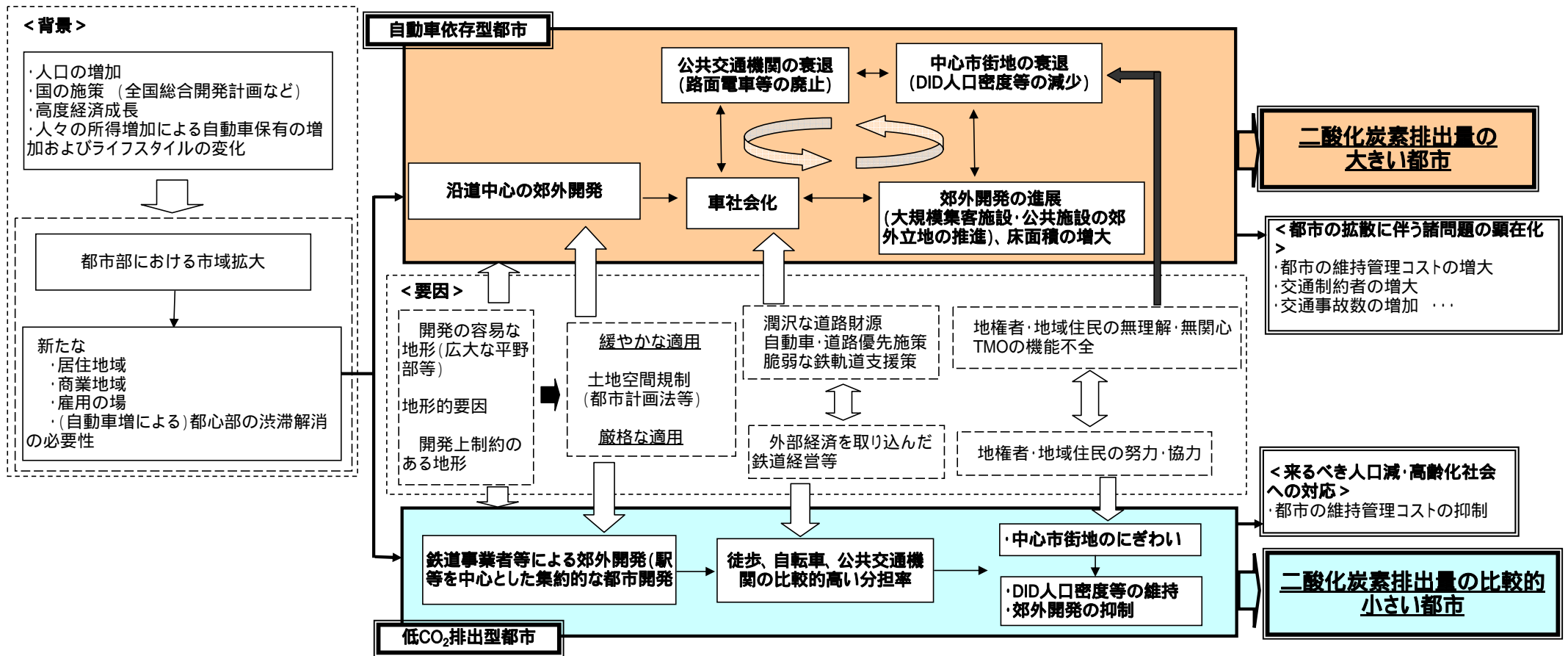


「地球温暖化対策の視点からのまちづくり」における現状分析と対策案

1. これまでの(地方都市における)まちづくり(二酸化炭素排出量の観点からの比較)



2. 「低CO₂排出量型都市」の実現にむけて(案)

低CO₂排出量型都市の実現に向けて、
郊外開発の抑制と都市中心部(集合部)への集約
自動車利用の抑制と公共交通機関へのシフト の2点に加えて、

自然資本・地域特性を活かしたまちづくりの推進
 についての施策をすすめていくが必要になってくる。

また、上記の推進にあたっては、
「まちづくりと環境」に関する人材の育成・活用 が不可欠である。

3. 「地球温暖化対策の視点からのまちづくり」のための対策案

< 凡例 >

黒: 郊外開発の抑制と都市中心部(集合部)への集約
 緑: 自然資本・地域特性を活かしたまちづくりの推進

青: 自動車利用の抑制と公共交通へのシフト
 赤: 「まちづくりと環境」に関する人材の育成・活用

	短期的視点 (~5年程度)	中期的視点 (5年~20年)	長期的視点 (20年~)
家 単位	<ul style="list-style-type: none"> 環境性能に優れた建築・住宅の普及 中古住宅の流通促進 		
街区 単位	<ul style="list-style-type: none"> 地域エネルギー(地域熱供給等)、自然資本等の選好誘導策等による徹底活用策 街区の格付け(環境的に優れた街区の評価) 		<ul style="list-style-type: none"> 街区のストック化
市町村 単位	<ul style="list-style-type: none"> 空間のリサイクル 集合部の低密度利用の解消策 中心部(集合部)居住へのインセンティブ 都市(都市圏)の二酸化炭素削減目標の設定 大規模集客施設の立地に伴う環境影響評価(CO2排出量)の構築 中心部(集合部)の建築物のストック化のための財政支援策 		
地域 単位	<ul style="list-style-type: none"> 交通部門のCO2排出削減目標の設定 交通機関の分担率目標の設定 ITの活用による交通手段のシームレス化 駐輪場の整備による公共交通機関への誘導策 交通結節点における乗換手段減少策 	<ul style="list-style-type: none"> 開発権取引(都市全体の開発総枠設定、過剰床対策) 土地利用政策と連携した総合的な交通計画の策定(新規公共交通機関(LRT等)の導入) 公共交通の先行整備 	
地方・国 単位	<ul style="list-style-type: none"> 都市圏の再集約エリアの設定 公共交通機関の安定的運営のための財政支援や法整備等の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 都市圏 - 自然圏CDM 	
全て	<ul style="list-style-type: none"> 環境とまちづくりに携わる人材の育成・活用 市民への情報提供 		